

地震火災対策

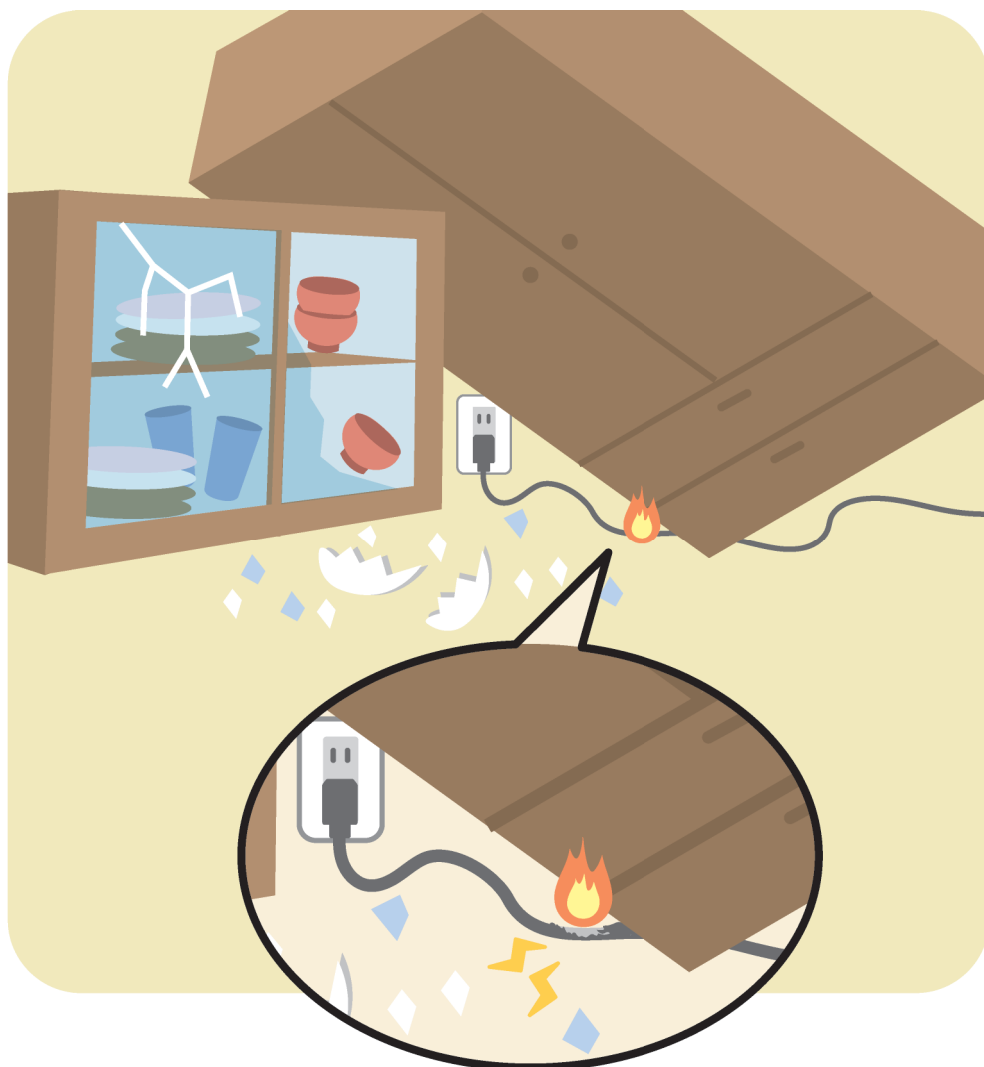
地震の怖さは揺れによる被害ではありません。
神奈川県では地震火災による甚大な被害が予測されています。
地震や台風等によって停電した後、電気が復旧したときに発生する
「通電火災」の対策をし、出火を防止することが重要です。

通電火災のパターン

パターン 1 ヒーターの上に衣類が落ち、出火



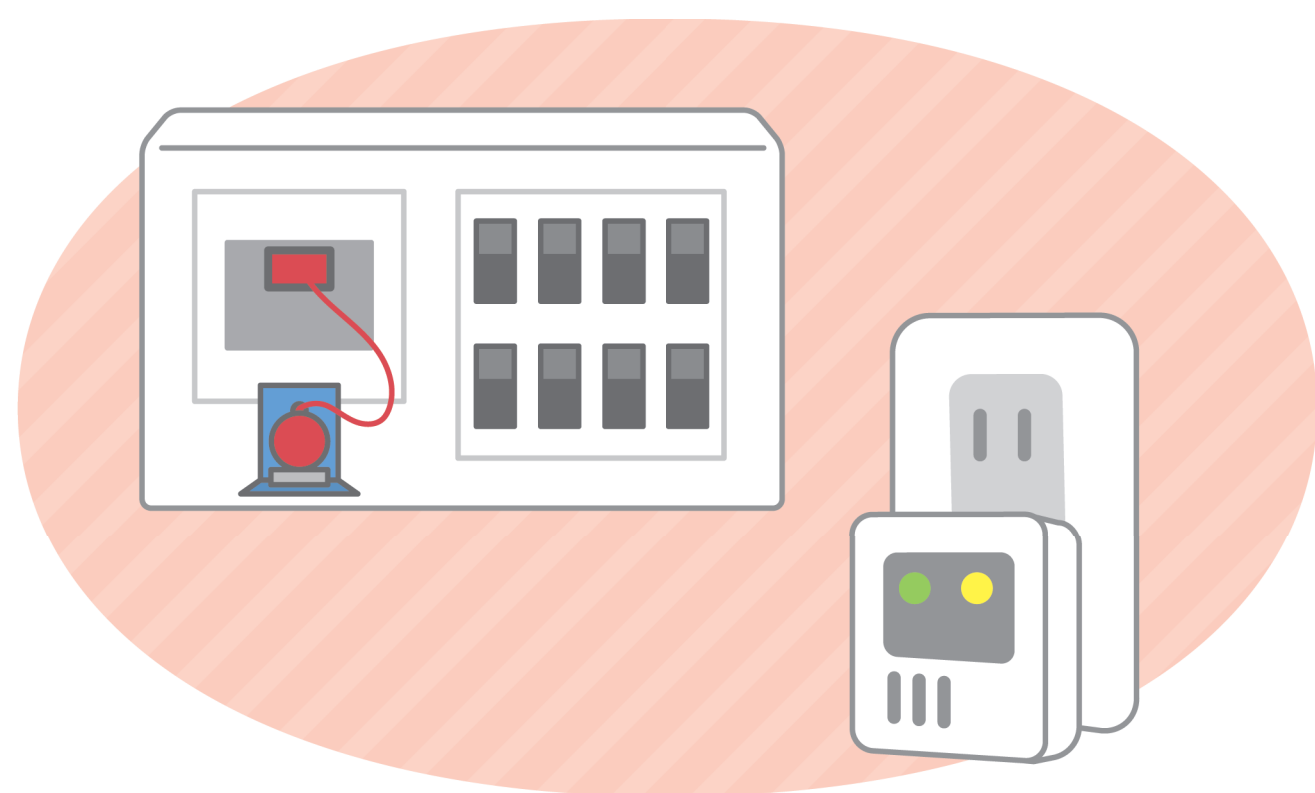
パターン 2 傷ついた電源コードから発火



パターン 3 雨漏りでぬれたコンセントから発火

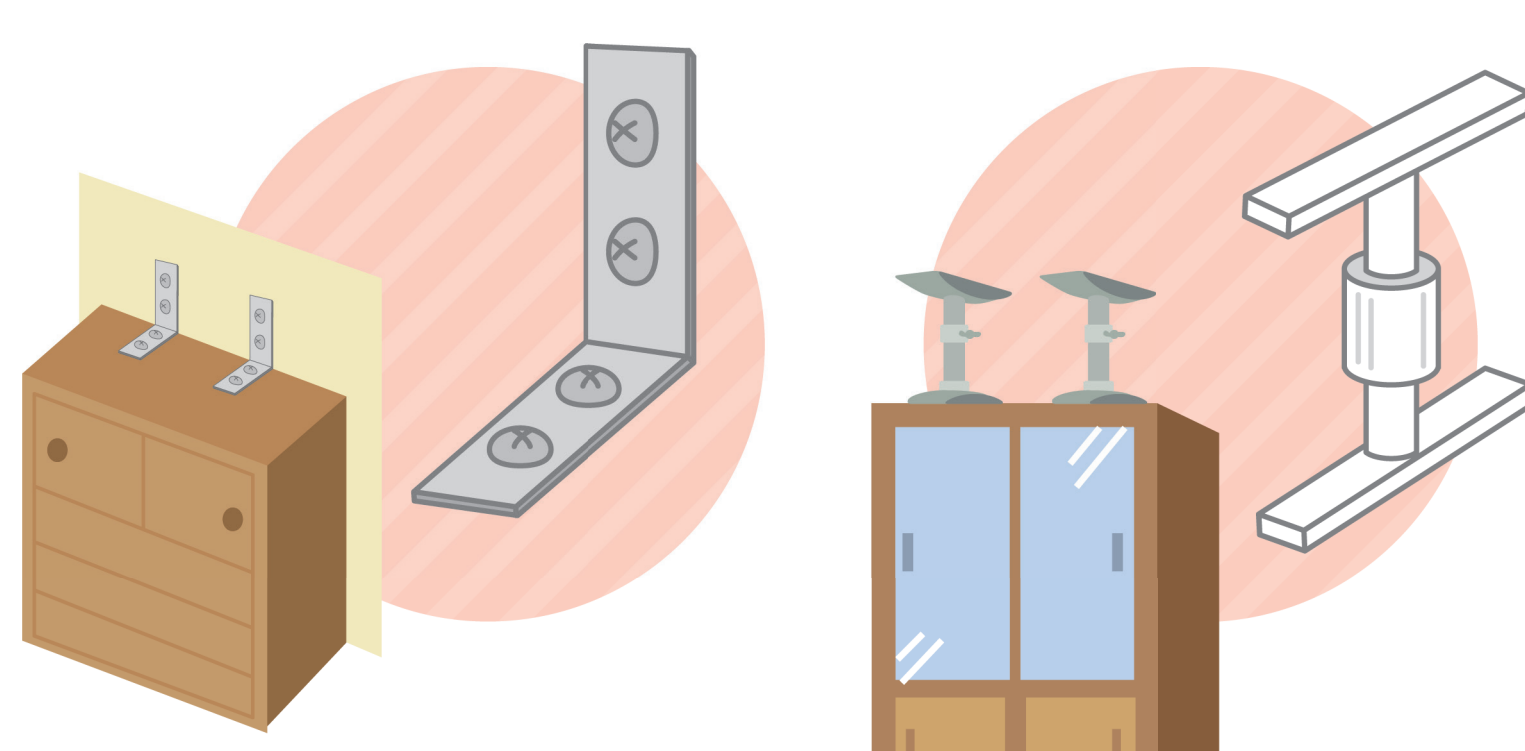


地震火災の対策



感震ブレーカー

地震の揺れを検知し、自動でブレーカーを落とすことで通電火災を防ぎます。



家具の転倒防止

家具の転倒防止措置を行うことで、怪我の防止だけでなく、配線の損傷も防ぐことができます。